

資料2

下水道施設包括的維持管理業務委託審議部会 の審議結果について

1 設置の経緯

- (1) 本市では、平成20年度から中央及び南部浄化センター並びに各ポンプ場における複数年度にわたる包括的維持管理業務委託を行っている。
- (2) 第4期の現行契約が令和5年度で満了することから、第5期（令和6年度から10年度まで）の受託者を選定するにあたり、価格以外の要素も考慮して落札者を決定する総合評価一般競争入札により決定することとした。
- (3) 入札を行うにあたっては、地方自治法に基づき、あらかじめ、「落札者決定基準」を定め、2名以上の学識経験者から意見を聞く必要がある。
- (4) このため、令和4年10月に開催された委員会にて、本部会を設置することとした。

2 委員の構成（敬称略、順不同）

部会長	森田 弘昭	日本大学教授・博士（工学）
副部会長	工藤 秀明	千葉大学名誉教授・博士（経済学）
	菊地 端夫	明治大学教授・博士（政治学）
	佐久間 水月	弁護士
	三上 譲	地方共同法人日本下水道事業団関東・北陸総合事務所次長

3 部会の開催状況

第1回	令和5年8月7日
第2回	令和6年1月31日

※第1回は、菊地委員欠席

4 審議の概要

第1回	(1) 中央・南部浄化センター包括的維持管理業務委託の概要の審議 (2) 落札者決定基準の審議
	(1) 包括的維持管理業務委託の概要、第4期までの総括及び第5期における変更点、対象とする業務内容について、事務局から説明し、質疑を行った。 (2) 技術提案書の評価項目、配点等を示した「落札者決定基準」について、あらかじめ本市職員で構成される技術審査会（以下、「審査会」という。）での審査を経て作成された事務局案を提示し、質疑後、承認された。また、事業者から提出される「技術提案書」の評価についても、次回の部会で審議することとされた。

第2回	技術提案書評価（案）の審議
審査会の審査を経て作成された「技術提案書評価案」について、事務局から説明し、質疑後、承認された。	

【参考】入札の結果

（1）総合評価の方法

$$\text{総合評価点} = \text{価格評価点} + \text{技術評価点}$$

$$\text{価格評価点} = \text{最低入札価格} / \text{当該入札価格} \times 500 \text{点}$$

$$\text{技術評価点} = \text{当該事業者素点※} / \text{素点最高点} \times 500 \text{点}$$

※評価項目ごとに事業者が得た基礎点の合計

（2）入札の結果

業務名		中央浄化センター等 包括的維持管理業務委託	南部浄化センター等 包括的維持管理業務委託
落札者		ヴェオリア・ジェネット(株)	月島ジェイテクノメンテサービス(株) (旧月島テクノメンテサービス(株))
価格要素 (配分点 500点)	入札額 (税抜)	48億円	120億円
	価格 評価点	48億円 / 48億円 × 500 = 500点	120億円 / 120億円 × 500 = 500点
技術要素 (配分点 500点)	素点	352点	391点
	技術 評価点	352点 / 352点 × 500 = 500点	391点 / 391点 × 500 = 500点
総合評価点		1,000点	1,000点
契約金額(税込)		52億8千万円	132億円

※入札参加者はそれぞれ1者ずつ